

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第13号

教育学部

共同教員養成課程

2年

富山県立福岡高等学校
(富山県)

子どもたちの喜ぶ姿をやりがいに

講義も課外活動も全力で！



高校の課外活動がきっかけでできた目標

中学生の頃から英語が得意だったので、英語コースのある高校へ進学しました。2年生の時に英語コースの活動で地元の小学校で英語を教える機会がありました。児童が英語を楽しく勉強したり、喜ぶ姿をみて「**小学校の教員になりたい!**」と思うようになりました。

実習の多さが魅力の富山大学教育学部

小学校の教員になるという明確な目標がある私にとって、富山大学教育学部の実習の多さは、とても魅力です。大学の講義で学んだことを現場で実践できるため、自分の経験につながります。他の学部の学生に比べると履修科目が多いので、自由な時間は少ないかもしれませんが。それでも、周りには「心から教員になりたい」という意思を持っている学生が集まっているので、みんなと共に切磋琢磨しています。

2年次から英語の教員になる道を選択

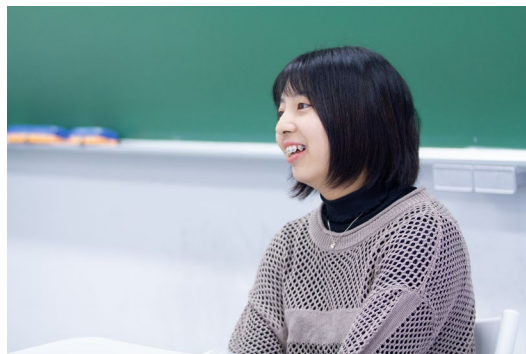
富山大学教育学部は、小学校教諭免許ともう1つの免許を取得することが卒業要件です。入学時は全員が一緒に学びますが、2年次から専門教育が分かれていきます。私は英語が得意であることと、小学校の教員を目指すきっかけになった高校2年のときの経験もあり、「英語教育」を選択しました。

授業以外でも小学校と関わる

教育実習とは別で、毎週木曜日に富山市内の小学校で理科のアシスタントとして、実験準備などのお手伝いをしています。授業補助として直接子どもたちと関わり、授業の仕方や子どもたちとの関わり方について学んでいます。

限界へ挑むべく、サークル活動も全力で

「歩いて発見!となみのチャレンジ」というサークル(他大学の学生との合同運営)に所属しています。子どもと関わる機会もあり、動くのも好きだからという理由ですが入部しましたが、実際の活動は想像以上にハードです。サークルのモットーは「**限界に挑戦**」で、まさに限界に挑む経験をしています(笑)。具体的には、地元の小学生と「100kmを5日間に分けて歩く」というイベントを企画・運営・実施します。事前準備や研修も多く、イベント当日の寝泊まりする施設の手配も私たちの仕事です。意欲的に参加している子もいれば、途中で辛くて泣いてしまう子もいます。それでも一緒に歩いて、励ましながら、最後はみんな「ゴール!」した時の達成感や子どもたちの笑顔にやりがいを感じています。



お世話になった高校の先生へ

生徒の進路に対して、先生方一人一人が親身になって考えてくれました。振り返ってみると、恵まれた環境で高校生活を過ごすことができた実感しています。私も先生方のように、子どもたち一人一人のことを考えられる教員になります!